

教科用図書採択参考資料綴り

教科名 算数

調 査 研 究 報 告 書

(小委員会名：算数)

1. 調 査 研 究 の 経 過 及 び 内 容	☐ 6月19日(月) 第1回釧路市・釧路町合同教科用図書調査委員会及び 第1回算数小委員会 ・小委員会員の確認・調査研究日程の確認並びに内容・役割分担の 確定 ☐ 6月20日(土)～7月6日(木) 各自、各教科書についての調査・研究 ☐ 7月7日(金) 第2回算数小委員会 ・調査内容の交流 ・各教科書の内容・構成・使用上の配慮事項等に関わる意見交換 ☐ 7月8日(土)～7月14日(金) ・意見交流を基に個別に再検討・精査 ・意見集約と報告書作成・確認 ☐ 7月31日(月) 第2回教科用図書調査委員会
2. 調 査 研 究 の 具 体 的 資 料	1 教科書編修趣意書 2 採択参考資料 3 学習指導要領解説
3. 少 数 意 見 等	

教科用図書採択参考資料

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
	2・東書	第1学年・算数 第2学年・算数 第3学年・算数 第4学年・算数 第5学年・算数 第6学年・算数	算数・112、算数・113 算数・212、算数・213 算数・312、算数・313 算数・412、算数・413 算数・512、算数・513 算数・612	新編あたらしいさんすう11 はじめようさんすう、新編あたらしいさんすう12 みつげようさんすう 新編新しい算数2上 考えるっておもしろい、新編新しい算数2下 考えるっておもしろい! 新編新しい算数3上 考えたことがつながるね、新編新しい算数3下 考えたことがつながるね! 新編新しい算数4上 考えたことがつながるね、新編新しい算数4下 考えたことがつながるね! 新編新しい算数5上 考えたことがつながるね、新編新しい算数5下 考えたことがつながるね! 新編新しい算数6 数学ヘンナン!
取扱内容 学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	○数と計算については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・数の概念とその表し方を学ぶために絵を見てブロックを動かしたり、かけ算の式になるおはじきの並べ方を考えたり、等分除と包含除の二つのわり算の問題を比べたりする活動（1～3年） ・ポットに入る水のかさの表し方を考えたり、リボンの代金を求める式を考えたり、ペンキ1 d Lで塗れる板の面積を求めたりする活動（4～6年） ○図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・点と点をつないでいろいろな形をかいたり、身の回りから長方形や正方形を見つたり、円の周りの点や中心を直線で結んでかいた三角形を仲間分けしたりする活動（1～3年） ・平行四辺形のかき方を考えたり、合同な四角形のかき方を考えたり、拡大図のかき方を考えたりする活動（4～6年） ○測定については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・テープに長さを写し取って長さを比べたり、鉛筆の長さを比べる方法を考えたり、電池とコンパスの重さを比べたりする活動（1～3年） ○変化と関係については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・二つ時計板の時刻の関係を式に表したり、直方体を積み重ねてできた直方体の高さや体積の関係を表に表したり、水槽に水を入れるときの時間と水の量の関係を調べたりする活動（4～6年） ○データの活用については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・生き物の数を整理して、その数の分だけ色を塗ったり、みんなでしたい遊びを表やグラフに表したり、けがをした時間と人数を表に整理したりする活動（1～3年） ・二つの事柄について 調べたことを表に分かりやすく整理する方法を考えたり、好きな給食のメニューの割合をグラフに表したり、日本の年齢別人口について二つのグラフを比べて考えたりする活動（4～6年） ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・数の並び方を見て気付いたことを話し合ったり、考えの相違点について話し合い、まとめたり、考えの相違点について話し合い、まとめたりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動（1～3年） ・角の大きさの学習や立体図形の体積の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、考えを図や式で表したり、分数の乗法、除法の学習において、既習の計算との違いを考えたり、考えの相違点について話し合い、まとめたりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動（4～6年）			

内容の構成・ 排列・分量等	○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～数の構成と表し方の学習において、10とあといくつかを数える学習の後に、10を単位として数の大きさをみる学習を扱う。 第2学年～長さ、かさの単位と測定の学習において、ものの特徴や長さに着目する学習の後に、普遍単位を用いて数値化する学習を扱う。 第3学年～小数の加法、減法の学習において、小数を数直線に対応させて考える学習の後に、小数点を揃え各位の単位を揃えて計算する学習を扱う。 第4学年～小数の仕組みとその計算の学習において、数の相対的な大きさを考える学習の後に、100分の1の位までに範囲を広げる学習を扱う。 第5学年～割合の学習において、図や式などを用いて二つの数量の関係を比べる学習の後に、割合が小数で表される場合の学習を扱う。 第6学年～分数の乗法、除法の学習において、分数×整数の計算の仕方を考える学習の後に、分数×分数の計算の仕方を考える学習を扱う。 ○内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～数と計算 135 ページ、図形 13 ページ、測定 22 ページ、データの活用 7 ページ、総ページ 174 ページ、前回より約 2%減 第2学年～数と計算 141 ページ、図形 24 ページ、測定 40 ページ、データの活用 25 ページ、総ページ 252 ページ、前回より約 3%減 第3学年～数と計算 147 ページ、図形 31 ページ、測定 34 ページ、データの活用 19 ページ、総ページ 300 ページ、前回より約 7%減 第4学年～数と計算 170 ページ、図形 77 ページ、変化と関係 18 ページ、データの活用 25 ページ、総ページ 324 ページ、前回より約 5%減 第5学年～数と計算 87 ページ、図形 88 ページ、変化と関係 50 ページ、データの活用 28 ページ、総ページ 296 ページ、前回より約 5%減 第6学年～数と計算 125 ページ、図形 89 ページ、変化と関係 78 ページ、データの活用 75 ページ、総ページ 270 ページ、前回より約 4%減
使用上の配慮等	○「つないでいこう算数の目」や「算数マイノートを学習に生かそう」で、次に学習してみたいことを想起する子どもの姿を例示したり（全学年）、コラム「ますりん通信」で、算数の学習に関連する多方面からの話題や見方・考え方などを取り上げたり（第2～6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○第1学年の第一分冊をA4版とし、直接書き込めるノート機能を揃えるとともに、数学的活動が確実にできるよう綴じ方を改良する工夫がなされたり（第1学年）、吹き出しで子どもがよりよく問題解決しようとする姿や発展的に学習しようとする姿を例示したり（全学年）、日常生活と学習場面を関連付け、学習することの意義や学習内容の有用性を実感できるようにしたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○視認性の高いユニバーサルデザイン教科書体を使用したり（全学年）、カラーユニバーサルデザイン、余白を生かした紙面デザインを徹底したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、自動正誤判定や結果の記録機能で、個別最適化された学びを支援できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※小学校用教科書目録(令和6年度使用文部科学省)による ○指導者用デジタル教科書（教材）、学習者用デジタル教科書や教材の発行が予定されている。 ○二次元コードにアクセスすることで、学習意欲を高め、理解を深めるシミュレーションや動画、アニメーションなど、教科書紙面と一体的に活用できる豊富なデジタルコンテンツが用意されている。 ○プログラミング教育については、「プログラミングを体験しよう！」を設定し、算数科の学習に関連づけながらプログラミング的に思考する体験ができるとともに、プログラミングができるQRコンテンツを用意されている。

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書	名
観点	4・大日本	第1学年・算数	算数・114、算数・115	新版 たのしさんすう1ねん①、新版 たのしいさんすう1ねん②	
		第2学年・算数	算数・214	新版 たのしい算数2年	
		第3学年・算数	算数・314	新版 たのしい算数3年	
		第4学年・算数	算数・414	新版 たのしい算数4年	
		第5学年・算数	算数・514	新版 たのしい算数5年	
		第6学年・算数	算数・614	新版 たのしい算数6年	
取 扱 内 容	学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	○数と計算については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・水槽に入れる魚の数を数えたり、かけ算の式になるおはじきの並べ方を考えたり、いちごを同じ数ずつ分けたり、二つのわり算の場面を比べたりする活動（1～3年） ・二つの水筒に入っているお茶を合わせた量を求めたり、木の棒1mの重さを求めたり、ペンキで塗れる板の面積を求める式を考えたり、針金の重さや長さの求め方を考えたりする活動（4～6年） ○図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・身の回りから似ている形を集めたり、図を見て三角形や四角形といえる訳を説明したり、ストローで作った三角形を仲間分けしたり、身の回りから円の形をしている物を見つめたりする活動（1～3年） ・点と点を結んで四角形を作ったり、合同な四角形のかき方を考えたり、アルファベットを仲間分けしたり、拡大図や縮図のかき方を考えたりする活動（4～6年） ○測定については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・2本の鉛筆の長さを比べたり、ハンカチの広さを比べたり、同じ長さのしおりを作る方法を考えたり、大豆の重さを測ったりする活動（1～3年） ○変化と関係については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・点と点を結んで作った長方形の縦の長さや横の長さの関係を表に表したり、リボン1mの代金を、数直線図を使って式に表したり、紙の枚数を数えずに求める方法を考えたりする活動（4～6年） ○データの活用については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・あさがおの花の数を整理したり、野菜の個数の分だけ色を塗ったり、育てたい野菜と人数を表やグラフに表したり、アンケートの結果を表した棒グラフの特徴を調べたり、三つの表を一つの表に整理したりする活動（1～3年） ・折れ線グラフの特徴を調べたり、二つの事柄が一度に分かる表や目的に合わせた表を作ったり、好きな給食のメニューの割合をグラフに表したり、3人の中から代表選手を1人選ぶためにデータを表やグラフに整理したりする活動（4～6年） ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・加法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、既習の加法の計算との違いを考えたり、乗法の学習において、考えの共通点について話し合い、まとめたりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動（1～3年） ・除法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、既習の除法の問題との相違点を見付けたり、平面図形の性質の学習において、図や式、言葉を使って考えを筋道立てていかたり、分数の乗法、除法の学習において、式を見直してきまりを見付けるなど、考えを広げたり深めたりする活動（4～6年）			

内容の構成・ 排列・分量等	○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～加法、減法の学習において、和が10以下の加法の学習の後に、1位数＋1位数で繰り上がりのある加法の学習を扱う。 第2学年～乗法の学習において、乗法が用いられる実際の場面の学習の後に、乗法九九を構成したり性質に着目したりする学習を扱う。 第3学年～分数の意味と表し方の学習において、分数の大小や仕組みの学習の後に、整数と同様に加法の計算ができることを知る学習を扱う。 第4学年～整数の除法の学習において、2位数を2位数で割る計算の学習の後に、桁数の多い計算の仕方を発展的に考える学習を扱う。 第5学年～平面図形の面積の学習において、平行四辺形の高さと面積の関係を調べる学習の後に、三角形の面積の求め方の学習を扱う。 第6学年～分数の乗法、除法の学習において、分数の乗法の学習の後に、分数の除法の意味を考える学習を扱う。 ○内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～数と計算 124 ページ、図形 15 ページ、測定 19 ページ、データの活用 4 ページ、総ページ 182 ページ、前回より約 3% 増 第2学年～数と計算 134 ページ、図形 17 ページ、測定 39 ページ、データの活用 7 ページ、総ページ 251 ページ、前回より約 3% 増 第3学年～数と計算 143 ページ、図形 25 ページ、測定 28 ページ、データの活用 18 ページ、総ページ 271 ページ、前回より約 3% 増 第4学年～数と計算 155 ページ、図形 69 ページ、変化と関係 15 ページ、データの活用 18 ページ、総ページ 295 ページ、前回より約 3% 増 第5学年～数と計算 81 ページ、図形 83 ページ、変化と関係 39 ページ、データの活用 23 ページ、総ページ 293 ページ、前回より約 1% 増 第6学年～数と計算 52 ページ、図形 50 ページ、変化と関係 36 ページ、データの活用 32 ページ、総ページ 273 ページ、前回より約 1% 増
使用上の配慮等	○単元の導入コーナーで、児童自身が問題や疑問を見いだす題材を扱ったり（全学年）、「ふくろう先生になるほど算数教室」で、算数が社会で生かされていることを実感できるよう、算数を生かして仕事をされている方へのインタビューを掲載したり（第3～6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○巻頭の「算数の学び方」で、問題解決型学習の流れを示すとともに、学習したことを生活に生かそうとする様子や発展的に問題を見いだす様子を掲載したり（全学年）、単元や毎時の導入で、児童が問題や疑問を見いだせる題材を掲載したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○見やすく読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）、色覚の特性によらず情報が読み取れる配色を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、シミュレーションコンテンツで、簡単に何度でも試行錯誤することができるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※小学校用教科書目録(令和6年度使用文部科学省)による ○指導者用デジタル教科書(教材)、学習者用デジタル教科書や教材の発行が予定されている。 ○二次元コードにより、これまであった作図の動画などに加え、児童の考え方のアニメーションコンテンツや、授業の解説動画、チャレンジ問題など、さまざまなコンテンツが用意されている。 ○算数の内容としっかりと結びついたプログラミングに触れる特設ページを全学年に設け、プログラミング的思考をのばすとともに、算数の理解が深まるように工夫されている。

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	11・学図	第1学年・算数	算数・116、算数・117	みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 1ねん上、みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 1ねん下
		第2学年・算数	算数・216、算数・217	みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 2ねん上、みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 2ねん下
		第3学年・算数	算数・316、算数・317	みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 3ねん上、みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 3ねん下
		第4学年・算数	算数・416、算数・417	みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 4ねん上、みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 4ねん下
		第5学年・算数	算数・516、算数・517	みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 5ねん上、みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 5ねん下
		第6学年・算数	算数・616、算数・617	みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 6ねん上、みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 6ねん下
				みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 6ねん下、みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 6ねん上、みんなとまなぶ しょうがつこう さんすう 6ねん下
取扱内容	○数と計算については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・小鳥の数を数えたり、駐車場の残った車の台数を求めたり、乗り物に乗っている人数を求めたり、12個のクッキーを4人で同じ数ずつ分ける方法を考えたり、等分除と包含除になるわり算の本を作ったりする活動（1～3年） ・1Lマスに入っている水のかさの表し方を考えたり、ジュース1Lあたりの代金を求めたり、ペンキで塗れる塀の面積を求めたり、ペンキ1dLで塗れる壁の面積を求めたりする活動（4～6年）			
	○図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・いろいろな形を集めたり、高く積み上げたり、動物を囲んだ形を仲間分けしたり、折り紙を折って二等辺三角形や正三角形を作ったりする活動（1～3年） ・地図記号から平行な直線を見つけたり、合同な図形を見つけたり、合同な三角形のかき方を考えたり、折り紙で作った形を仲間分けしたり、拡大図や縮図のかき方を考えたりする活動（4～6年）			
学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○測定については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・2本の鉛筆の長さを比べたり、陣取りゲームをしたり、長さを同じテープのいくつ分で表したり、はかりを使って文房具の重さを測ったりする活動（1～3年）			
	○変化と関係については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・周りの長さが一定の場合の長方形の縦の長さ、横の長さ、面積の長さの関係を表に表したり、リボンの長さと代金の関係を表に表したり、水の量と深さの関係をグラフに表したり、2本の比例のグラフを比べたりする活動（4～6年）			
	○データの活用については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・果物を種類ごとに並べたり、果物の個数の分だけ色を塗ったり、お楽しみ会でやってみようことを表やグラフに表したり、好きな給食のメニューについて分かりやすいグラフの表し方について考えたりする活動（1～3年） ・気温の変化をグラフに表したり、複合グラフから分かることについて話し合ったり、好きなスポーツをグラフに表したり、ソフトボール投げの結果のデータを度数分布表に表したりする活動（4～6年）			
	○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・減法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、絵を使って考えを表したり、調べたことを基に減らす工夫を話し合ったり、除法の学習において、等分除と包含除の場面の式について考えたり、考え方の相違点について話し合ったりして、考えを広げたり深めたりする活動（1～3年） ・角の大きさの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、三角定規を使って角の大きさを調べたり、比例の学習において、紙の枚数を数えないで調べる方法について、考えを広げたり深めたりする活動（4～6年）			

内容の構成・ 排列・分量等	○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～数の構成と表し方の学習において、繰り上がりのない2位数と1位数の加法の学習の後に、簡単な2位数の減法の学習を扱う。 第2学年～乗法の学習において、乗数が1ずつ増えるときの積の増え方の学習の後に、簡単な場合の2位数と1位数との乗法の学習を扱う。 第3学年～分数の意味と表し方の学習において、分数の仕組みや大小の学習の後に、1より大きい分数の意味や表し方の学習を扱う。 第4学年～小数の仕組みとその計算の学習において、小数の大小の学習の後に、小数の10倍、10分の1の学習を扱う。 第5学年～平面図形の面積の学習において、公式を使って平行四辺形の面積を求める学習の後に、三角形の面積の求め方の学習を扱う。 第6学年～角柱及び円柱の体積の学習において、角柱の体積の求め方の学習の後に、いろいろな立体の体積を工夫して公式を使って求める学習を扱う。 ○内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～数と計算 140 ページ、図形 14 ページ、測定 21 ページ、データの活用 10 ページ、総ページ 214 ページ、前回より約 7%増 第2学年～数と計算 157 ページ、図形 29 ページ、測定 61 ページ、データの活用 14 ページ、総ページ 316 ページ、前回より約 8%増 第3学年～数と計算 164 ページ、図形 40 ページ、測定 45 ページ、データの活用 27 ページ、総ページ 330 ページ、前回より約 8%増 第4学年～数と計算 181 ページ、図形 70 ページ、変化と関係 30 ページ、データの活用 24 ページ、総ページ 350 ページ、前回より約 6%増 第5学年～数と計算 110 ページ、図形 106 ページ、変化と関係 69 ページ、データの活用 34 ページ、総ページ 364 ページ、前回より約 8%増 第6学年～数と計算 86 ページ、図形 94 ページ、変化と関係 66 ページ、データの活用 67 ページ、総ページ 316 ページ、前回より約 6%増
使用上の配慮等	○「見方・考え方」を児童が使いたくなるよう「考え方モンスター」として紙面に具現化したり（全学年）、「算数をつかって」でこれまで学んできた学習内容や解決の仕方を活用してSDGsに関連した題材に取り組むことができるようにしたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○身の回りの生活の中や、算数の学習の中から問題を発見することができるよう「？を発見」のページを設定したり（全学年）、次の学びへの関心・意欲が高まり、真理を求める態度を養うことができるよう「つながりの？」を設定したり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされている。 ○全面的にユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）、目に優しく判別のしやすい色を使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、5つのマークを付け、デジタルコンテンツにどのような内容が含まれているか分かるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※小学校用教科書目録(令和6年度使用文部科学省)による ○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○適宜、活動や思考の補助になるようなデジタルコンテンツを用意し、タブレット等で活用できるようにしている。 ○プログラミング的思考を身に付けるため、学年末に「プログラミングのプ」を設定している。

教科用図書採択参考資料

番号 観点	発行者の番号・略称 17・教出	使用学年・分野 第1学年・算数 第2学年・算数 第3学年・算数 第4学年・算数 第5学年・算数 第6学年・算数	教科書の記号・番号 算数・118 算数・218, 算数・219 算数・318, 算数・319 算数・418, 算数・419 算数・518 算数・618	教科書名 しょうがくさんすう1 小学算数2上、小学算数2下 小学算数3上、小学算数3下 小学算数4上、小学算数4下 小学算数5 小学算数6
取扱内容 学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	○数と計算については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・葉の枚数を数えたり、残ったまつぼっくりの数の求め方を考えたり、おはじきを使ってかけ算に表したり、クッキーを何袋に分けられるのかを求めたり、わり算の式になる問題を作ったりする活動（1～3年） ・ペットボトルに入っている水のかさの表し方を考えたり、リボンの代金を求める式を考えたり、1mの棒の重さの求め方を考えたりする活動（4～6年） ○図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・箱や色板でいろいろな形を作ったり、動物を囲んだ形を仲間分けしたり、ストローで作った三角形を仲間分けしたり、身の回りから二等辺三角形や正三角形を見つけたりする活動（1～3年） ・四角形を仲間分けしたり、合同な四角形を見つけたり、合同な三角形のかき方を考えたり、同じ形で大きさが違う図形を見つけたり、拡大図のかき方を考えたりする活動（4～6年） ○測定については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・2本の鉛筆の長さを比べたり、陣取りゲームをしたり、しおりの長さをものを使って表したり、ランドセルの重さを測ったりする活動（1～3年） ○変化と関係については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・ひもで作った長方形の横の長さとの縦の長さの関係を表に表したり、直方体を積み重ねてできた直方体の高さとの体積の関係を表に表したり、グラフから変化や対応の特徴を読み取ったりする活動（4～6年） ○データの活用については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・野菜の種類ごとに並べたり、野菜の個数の分だけ色を塗ったり、好きな遊びを表やグラフに表したり、乗り物調べの結果を表した棒グラフの読み方を考えたりする活動（1～3年） ・気温の変化をグラフに表したり、ブルーベリーの収穫量の割合をグラフに表したり、日本の年齢別人口の二つのグラフを比べて考えたりする活動（4～6年） ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・加法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、加法のよりよい計算の仕方を考えたり、乗法の学習において、既習の乗法の計算との違いを考えたり、考えの相違点について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動（1～3年） ・平面図形の面積の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、L字型の図形の面積の求め方を考えたり、比例の学習において、考えの相違点について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動（4～6年）			

内容の構成・ 排列・分量等	○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～加法、減法の学習において、10のまとまりを作って計算する学習の後に、1位数＋1位数で繰り上がりのある加法の学習を扱う。 第2学年～長さ、かさの単位と測定の学習において、数と単位を使って長さを表す学習の後に、数と単位を使って水のかさを表す学習を扱う。 第3学年～分数の意味と表し方の学習において、単位分数の学習の後に、同分母分数の加法の計算の仕方を考える学習を扱う。 第4学年～小数の仕組みとその計算の学習において、小数×整数の計算の学習の後に、小数÷整数の計算の学習を扱う。 第5学年～平面図形の面積の学習において、平行四辺形の面積を求める学習の後に、三角形の面積の求める学習を扱う。 第6学年～分数の乗法、除法の学習において、分数×整数の計算の仕方を考える学習の後に、分数÷整数の計算の仕方を考える学習を扱う。 ○内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～数と計算 131 ページ、図形 7 ページ、測定 24 ページ、データの活用 4 ページ、総ページ 190 ページ、前回より約 4%増 第2学年～数と計算 151 ページ、図形 23 ページ、測定 40 ページ、データの活用 8 ページ、総ページ 286 ページ、前回より約 1%増 第3学年～数と計算 158 ページ、図形 32 ページ、測定 35 ページ、データの活用 19 ページ、総ページ 310 ページ、前回より約 3%増 第4学年～数と計算 169 ページ、図形 79 ページ、変化と関係 17 ページ、データの活用 30 ページ、総ページ 358 ページ、前回より約 2%増 第5学年～数と計算 119 ページ、図形 91 ページ、変化と関係 92 ページ、データの活用 26 ページ、総ページ 314 ページ、前回より約 1%増 第6学年～数と計算 53 ページ、図形 65 ページ、変化と関係 38 ページ、データの活用 32 ページ、総ページ 292 ページ、前回より約 6%増
使用上の配慮等	○身近な題材から算数の問題を発見するなど、学ぶ意義を感じ、目的意識をもって取り組める教材や活動を示す「きっかけ」ページを設けたり（全学年）、各単元の終わりに、学習したことを使って取り組む活動を示すページを設けたり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○単元の導入で、身近な題材から算数の問題を発見し、目的意識をもって数学的活動に取り組めるようにしたり（全学年）、単元末で、学習したことを日常場面に活用し、等「何ができるようになったか」実感できるようにしたり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ユニバーサルデザインデジタル教科書体を使用したり（全学年）、識別しやすい配色を用い、図版に色名を付記したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、毎時の知識・技能まとめをアニメーションにして、視覚的にも理解が深められるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※小学校用教科書目録(令和6年度使用文部科学省)による ○指導者用デジタル教科書（教材）、学習者用デジタル教科書や教材の発行が予定されている。 ○教科書から「まなびリンク」マークで二次元コードからデジタルコンテンツにリンクし、動的な表現によって理解を深めたり、反復練習によって習熟を図ったり、思考・表現の活動に焦点化できるようにしたり ICT の特性を生かした学習ができるように工夫されている。 ○全学年において、プログラミング学習の教材や表計算ソフトを用いた活動を取り入れており、プログラミング的思考や情報活用能力が育成されるように工夫されている。

教科用図書採択参考資料

番号 観点	発行者の番号・略称 61・啓林館	使用学年・分野 第1学年・算数 第2学年・算数 第3学年・算数 第4学年・算数 第5学年・算数 第6学年・算数	教科書の記号・番号 算数・120、算数・121 算数・220、算数・221 算数・320、算数・321 算数・420、算数・421 算数・520 算数・620	教科書名 わくわくさんすう1すたあとぶっく、わくわくさんすう1 わくわく算数2上、わくわく算数2下 わくわく算数3上、わくわく算数3下 わくわく算数4上、わくわく算数4下 わくわく算数5 わくわく算数6
取扱内容 学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	○数と計算については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・石の上のかえるの数を数えたり、木に残った柿の数を求めたり、乗り物に乗っている人数を求めたり、いちごを等分する方法を考えたり、わり算になる問題カードを作成したりする活動（1～3年） ・サイクリングコースの道のりを求めたり、リボンの代金を求めたり、ひも1m分の代金を求めたり、ペンキで塗れる壁の面積を求めたり、ペンキ1dLで塗れる壁の面積を求めたりする活動（4～6年） ○図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・似ている形を集めたり、色板でいろいろな形を作ったり、動物を囲んだ形を分類したり、身の回りから二等辺三角形や正三角形を見つけたりする活動（1～3年） ・コンパスを使って平行四辺形をかいいたり、形も大きさも同じ図形を見つけたり、アルファベットを分類したり、拡大図や縮図をかいいたりする活動（4～6年） ○測定については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・2本の鉛筆の長さを比べたり、場所取りゲームをしたり、こぶしを使ってものの長さを比べたり、文房具の重さを比べたり、ランドセルの重さを測ったりする活動（1～3年） ○変化と関係については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・ストローで作った長方形の縦の本数と横の本数の関係を表に表したり、和暦と西暦の関係について調べたり、時間と水の深さの関係を調べたり、2本の比例のグラフを比べたりする活動（4～6年） ○データの活用については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・果物を種類ごとに縦に並べたり、個数の分だけ色を塗ったり、好きな遊びを表やグラフに表したり、好きな遊び調べの人数をグラフに表したり、二つの表を一つの表に整理したりする活動（1～3年） ・気温の変化をグラフに表したり、作物別産出額をグラフに表したり、表やグラフから分かることを考えたり、大縄跳びの3チームのデータから、代表チームの決め方を考えたりする活動（4～6年） ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・加法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、加法のよりよい計算を考えたり、数量の関係を表す式の学習において、□に当てはまる数について考えたりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動（1～3年） ・小数や分数の乗法・除法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、計算の方法を考えたり、考えのよいところや共通点について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動（4～6年）			

内容の構成・ 排列・分量等	○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～時刻の読み方の学習において、短針に着目して時計を読む学習の後に、長針に着目して時計を読む学習を扱う。 第2学年～乗法の学習において、基準量に着目して乗法の意味を理解する学習の後に、乗法九九を構成したり理解したりする学習を扱う。 第3学年～除法と乗法の関係の学習において、基準量の何倍かという見方・考え方を働かせる学習の後に、分数の意味と表し方を理解する学習を扱う。 第4学年～簡単な場合についての割合の学習において、既習の基準量の何倍かという見方・考え方を働かせる学習の後に、割合を用いて比べる学習を扱う。 第5学年～割合の学習において、割合を用いて比べる学習の後に、円グラフや帯グラフなどの割合のグラフの学習を扱う。 第6学年～割合の学習において、割合を表す分数について理解を深める学習の後に、全体を1として割合を考えるという見方・考え方を働かせる学習を扱う。 ○内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～数と計算 126 ページ、図形 15 ページ、測定 15 ページ、データの活用 2 ページ、総ページ 196 ページ、前回より約 10%増 第2学年～数と計算 137 ページ、図形 26 ページ、測定 37 ページ、データの活用 8 ページ、総ページ 276 ページ、前回より約 7%減 第3学年～数と計算 150 ページ、図形 25 ページ、測定 20 ページ、データの活用 22 ページ、総ページ 282 ページ、前回より約 7%減 第4学年～数と計算 144 ページ、図形 66 ページ、変化と関係 30 ページ、データの活用 29 ページ、総ページ 298 ページ、前回より約 7%減 第5学年～数と計算 84 ページ、図形 77 ページ、変化と関係 87 ページ、データの活用 23 ページ、総ページ 284 ページ、前回より約 7%減 第6学年～数と計算 47 ページ、図形 56 ページ、変化と関係 40 ページ、データの活用 33 ページ、総ページ 274 ページ、前回より約 9%減
使用上の配慮等	○「学びをいかそう」で算数を学ぶ意義を感じられる題材を取り扱ったり（全学年）、「わくわくSDGs」でエネルギーの利用など社会における答えが1つに定まらない問いに対して算数を使って取り組み、自分たちに何ができるかを考えたり（第3～6学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○児童から「めあて」が引き出せるよう、児童の「問いや気付き」を「めばえ」として掲載したり（第2～6学年）、児童自らが単元全体の学習を振り返り、生かしていけるよう、「たしかめよう・ふりかえろう・やってみよう」を設定したり（第2～6学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○識別がしやすいユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）、色覚の特性によらず学びやすい配色を用いたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、具体物の操作では時間のかかる創造的な活動も簡単に行えるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※小学校用教科書目録(令和6年度使用文部科学省)による ○指導者用デジタル教科書(教材)、学習者用デジタル教科書や教材の発行が予定されている。 ○二次元コードから「動かす」「動画」「問題練習」「スライド」「解説動画(スマートレクチャー)」の5種類のコンテンツが利用でき、個別最適な学びを実現できるよう工夫がなされている。 ○全学年に「わくわくプログラミング」の単元を設け、楽しみながらプログラミングを体験し、将来に役立つプログラミング的思考、論理的思考力が身に付くような工夫がなされている。

教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	116・日文	第1学年・算数	算数・122, 算数・123	しょうがく さんすう1①、しょうがく さんすう1②
		第2学年・算数	算数・222, 算数・223	小学算数2上、小学算数2下
		第3学年・算数	算数・322, 算数・323	小学算数3上、小学算数3下
		第4学年・算数	算数・422, 算数・423	小学算数4上、小学算数4下
		第5学年・算数	算数・522	小学算数5
		第6学年・算数	算数・622	小学算数6
		取扱内容	○数と計算については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・まつぼっくりの数を数えたり、木に残った柿の数を求めたり、九九表から決まりを見つけたり、お菓子を同じ数ずつ分けたり、二つのわり算の問題を比べたりする活動（1～3年） ・ペットボトルに入っているジュースのかさの表し方を考えたり、パイプ1mの重さを求めたり、ペンキで塗れる屋根の面積を求めたり、ペンキ1dLで塗れる机の面積を求めたりする活動（4～6年）	
○図形については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・箱や色の棒でいろいろな形を作ったり、動物を囲んだ形を仲間分けしたり、身の回りから二等辺三角形や正三角形を見つけたりする活動（1～3年） ・四角形を仲間分けしたり、平行四辺形のかき方を考えたり、合同な四角形のかき方を考えたり、方眼を使って拡大図や縮図をかくたりする活動（4～6年）				

学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	○測定については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・テープを使って長さを比べたり、陣取りゲームをしたり、テープを使ってものの長さを比べたり、ランドセルの重さを測ったりする活動（1～3年）			
	○変化と関係については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・点と点を結んで作った長方形の縦の長さや横の長さの関係を表に表したり、直方体を積み重ねてできた直方体の高さや体積の関係を表に表したり、時間と水の深さの関係を調べたり、2本の比例のグラフを比べたりする活動（4～6年）			

	○データの活用については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・動物の数を整理したり、動物の数の分だけ色を塗ったり、メダルの色調べを表やグラフに表したり、好きなスポーツ調べを表したグラフについて調べたり、分かりやすい表のまとめ方について考えたりする活動（1～3年） ・二つの事柄を表に整理する方法を考えたり、図書室で貸出された種類別の本の数をグラフに表したり、データを基にどちらを代表チームにするとよいか考えたり、日本の年齢別人口について二つのグラフを比べて考えたりする活動（4～6年）			
	○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。 ・加法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、加法のよりよい計算の仕方を考えたり、考えの共通点について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動（1～3年） ・除法や比例の学習において、既習の除法の計算との違いを考えたり、考えの共通点や相違点について話し合ったりするなどして、考えを広げたり深めたりする活動（4～6年）			

内容の構成・ 排列・分量等	○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。 第1学年～加法、減法の学習において、10を作る計算や10より大きい数などの既習事項を確認する学習の後に、繰り上がりのある加法の学習を扱う。 第2学年～簡単な表やグラフの学習において、第1学年で学習した絵や図を用いた数量の表現を確認する学習の後に、簡単な表やグラフに表す学習を扱う。 第3学年～乗法の学習において、乗法の性質を考える学習の後に、加法の性質と乗法に関して成り立つ性質の共通点を考える学習を扱う。 第4学年～面積の学習において、L字型の図形の面積の求め方を考える学習の後に、それとL字型に並べたボールの数の求め方の共通点を考える学習を扱う。 第5学年～平面図形の性質の学習において、合同な三角形や四角形をかく学習の後に、合同な正三角形や円、ひし形のかき方を考える学習を扱う。 第6学年～分数の乗除の学習において、倍を表す分数について理解を深める学習の後に、整数、小数、分数による倍の表し方の共通点を考える学習を扱う。 ○内容の分量については、次のようになっている。 第1学年～数と計算 152 ページ、図形 21 ページ、測定 22 ページ、データの活用 6 ページ、総ページ 198 ページ、前回より約 1%減 第2学年～数と計算 149 ページ、図形 32 ページ、測定 52 ページ、データの活用 14 ページ、総ページ 308 ページ、前回より約 6%増 第3学年～数と計算 156 ページ、図形 38 ページ、測定 47 ページ、データの活用 30 ページ、総ページ 324 ページ、前回より約 7%増 第4学年～数と計算 184 ページ、図形 86 ページ、変化と関係 41 ページ、データの活用 34 ページ、総ページ 346 ページ、前回より約 4%増 第5学年～数と計算 105 ページ、図形 106 ページ、変化と関係 58 ページ、データの活用 35 ページ、総ページ 330 ページ、前回より約 2%増 第6学年～数と計算 100 ページ、図形 102 ページ、変化と関係 69 ページ、データの活用 98 ページ、総ページ 300 ページ、前回より約 5%増
使用上の配慮等	○単元アプローチとして、ストーリー性やビジュアル性のある導入ページを設けて学習の課題を自ら見つけられるようにしたり（全学年）、「なるほど算数」で算数につながる数学界の偉人や伝統的な和算の紹介などの算数に関するコラムを掲載したり（全学年）するなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○「算数マイトライ」で理解度、学習の目的に合わせて様々なジャンル・難易度の問題を掲載したり（第2～6学年）、「使ってみよう」で作業的・体験的な活動や学習したことを実際の場面に活用する活動の充実を図ったり（全学年）するなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○視認性の高いユニバーサルデザインフォントを教科書体やゴシック体にも採用したり（全学年）、図形に使う色数を抑え、目に優しい色を使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載し、アニメーションや自分で操作できるコンテンツで理解を深めるようにするなど、使用上の便宜が図られている。
その他	※小学校用教科書目録(令和6年度使用文部科学省)による ○指導者用デジタル教科書(教材)、学習者用デジタル教科書や教材の発行が予定されている。 ○全学年の巻末に「レッツ プログラミング」のページを設け、プログラミング的思考を養うための教材を用意している。 ○教科書紙面に二次元コードを配置し、それを読み取ることでさまざまなデジタルコンテンツにアクセスすることができる。